

さかいまち 議会だより

No. 211

令和7年
2月1日発行



伊東良孝新しい地方経済・生活環境創生担当大臣
地方創生の先進事例視察のため境町を訪問されました（12月7日）



鳥取県岩美町との発展に向けた議会研修（12月17日）



目次

- ◆新春のあいさつ P.2
- ◆第4回定例会議決事項 P.3
- ◆一般質問 P.4～P.6
- ◆議会活動 P.7～P.8

新春のあいさつ

議長

倉持 功



明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこ
とと、心からお喜び申し上げます。

昨年中は、町政発展のために多
大なるご理解とご協力を賜り、議
員一同深く感謝と御礼を申し上げ
る次第です。

さて、国の経済は、コロナ禍を
乗り越え、雇用・所得環境が改善
する中で緩やかに回復しているも
の、エネルギー価格・物価高騰
の影響を受け、依然として地域経
済や国民生活は厳しい状況に置か
れております。地方自治体では、
このような厳しい状況の中で、新
たな行政需要に適切に対応しつつ、
地域のデジタル化や地方創生の推
進、こども・子育て政策の強化や
福祉・医療サービスの充実、防
災・減災対策の推進などに、計画
的・持続的に取組んで行くことが
求められております。

こうした中、政府においては、「令
和6年度税制改正大綱」が決定さ

れ、総合経済対策である国民一人あ
たり4万円の定額減税が実施され
ました。

当町におきましては昨年、物価
高騰対策として、「低所得者支
援給付金事業」を、国の物価高騰対
応重点支援地方創生臨時交付金を
活用し、住民税非課税となる世帯
又は均等割のみ課税の世帯へ10万
円の給付と、あわせて住民税非課
税となる世帯又は均等割のみ課税
の世帯へ子供加算として18歳以下
の児童一人当たり5万円の給付を
申請者に支給いたしました。

また、「誰もが生活の足に困らな
い町」を目指し、自動運転バス公道
定常運行、高速バス路線の導入な
ど行つてまいりましたが、更なる移
動手段の充実を図るべく、公共交
通空白地域の住民を対象に、買物
や通院、子どもの部活動や塾など
の送迎に活用できる「境町A Iオ
ンデマンドバス」の実証運行が開始
されました。

近年、地球温暖化の進行による

気象状況の変化による猛暑、激甚
化する自然災害大規模な台風や線
状降水帯による豪雨被害が頻発化
しております。町民の生命・財産
を守るため、今後も誰一人取り残
さない、住み続けられる街を目指
し、取り組みに協力し、進めてま
いりますので、引き続きご理解と
ご協力を賜りますようお願い申し
上げます。

町民の代表である町議会といた
しましては、執行機関と互いに切磋
琢磨しながら、町づくりの主役は
町民の皆様であることを第一に、住
んでよかったと思える町づくりの
実現に向けて鋭意努力してまいり
ます。

町民の皆様にとりまして、本年が
より実りある飛躍の年となります
ように心からご祈念申し上げます
とともに、今後も一層のご支援・ご
協力を賜りますようお願い申し上
げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

令和6年第4回定例会

12月3日～12月6日（4日間の会期）

全議案・原案可決

補正予算関係

令和6年度境町各種会計補正予算

区 分		予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計(承認第14号)		165億8,795万円	1,480万円	166億275万円
一般会計(承認第17号)		166億275万円	1億3,408万円	167億3,683万円
一般会計(議案第80号)		167億3,683万円	43億6,109万円	210億9,792万円
一般会計(議案第87号)		210億9,792万円	1億5,715万円	212億5,507万円
特別 会計	国民健康保険事業(議案第81号)	28億8,166万円	66万円	28億8,232万円
	後期高齢者医療事業(議案第82号)	6億3,116万円	580万円	6億3,696万円
	介護保険事業(議案第83号)	21億1,911万円	112万円	21億2,023万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議 決 年 月 日 議 決 結 果
承認第13号	専決処分の承認を求めることについて (境町行政組織設置条例の一部改正)	R 6 . 1 2 . 3 即日原案承認
承認第15号	専決処分の承認を求めることについて (和解及び損害賠償の額の決定について)	R 6 . 1 2 . 3 即日原案承認
承認第16号	専決処分の承認を求めることについて (境町医療福祉費支給に関する条例の一部改正)	R 6 . 1 2 . 3 即日原案承認
議案第77号	境町インバウンド等交流拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定 について	R 6 . 1 2 . 6 原 案 可 決
議案第78号	境町土砂等による土地の埋立て、盛土及びたい積の規制に関する条例 の一部を改正する条例案について	R 6 . 1 2 . 6 原 案 可 決
議案第79号	境町インバウンド等交流拠点施設の指定管理者の指定について	R 6 . 1 2 . 6 原 案 可 決
議案第84号	工事変更請負契約の締結について (仮称) 利根川原水を活用した特産品開発拠点施設整備工事	R 6 . 1 2 . 3 即日原案可決
議案第85号	工事変更請負契約の締結について (仮称) SAKAIビックエアパーク整備工事	R 6 . 1 2 . 3 即日原案可決
議案第86号	工事変更請負契約の締結について (仮称) 境町魅力向上・発信拠点施設整備工事	R 6 . 1 2 . 3 即日原案可決
同意第6号	坂東市外2か町公平委員会の委員の選任につき同意を求めることにつ いて	R 6 . 1 2 . 3 即日原案同意

人事案件

○坂東市外2か町公平委員会の選任につき議会の同意を求められ、全会一致で即日同意されました。

【再任】

住所 坂東市沓掛
氏名 木村 和之 氏

議員の辞職

○令和6年10月15日付、佐怒賀康輔議員から辞職願が提出され、地方自治法第126条但し書の規定に基づき、議長が10月18日に議員辞職を許可しました。

これにより、当町議会は現員数11名となりました。

教育福祉常任委員会 副委員長の互選

○教育福祉常任委員会副委員長の空席が生じたので、木村信一議員が副委員長に選出されました。

一般質問

1 議席3番 枝 史子 議員

(1) 不登校児童生徒に対する町の対応について

2 議席4番 鈴木 英明 議員

(1) A I オンデマンド交通について
(2) 防災アプリについて

3 議席10番 田山 文雄 議員

(1) 軟骨伝導イヤホンの導入について
(2) 高齢者支援の取り組みについて

3人の議員が登壇しました

議席3番

枝 史子 議員



不登校の児童生徒に対する 町の対応について

Q 不登校の児童生徒が増え続けているが、このような子どもたちに対して、学校及び教育委員会はどのような働きかけをしているのか。

A 文部科学省実施の令和5年度調査によると、全国の小中学校の不登校児童生徒数は、約34万6千人で、11年連続で増加し、過去最多となっております。また、当町における令和5年度不登校児童生徒数は、小学校で27人、中学校で36人となっております。

不登校支援にあたっては、本人およびその保護者の意思を十分に尊重して行う必要があると考えており、欠席が続いたり、本人や保

護者から相談があった場合、速やかに面接を実施しております。

不登校の要因は様々であり、県の調査では「やる気が出ない」、「不安・抑うつ」、「生活リズムの不調」などが主な理由ですが、本人でもわからないこともあり、原因を特定することは難しい状況であります。その中で、教室へ入ることができない児童生徒には、放課後登校や別室登校といった学習環境も整えています。また、登校できない児童生徒には、教室と自宅をオンラインでつなぎ授業を受けられるよう、町教育支援センター（フレンドスクール）を活用した学習支援等を紹介したり、児童生徒が学習できる場とつながるよう努めております。

今後も、不登校児童生徒やその保護者の意思を十分に尊重するとともに、学校が児童生徒にとって安心・安全な居場所となるよう努めてまいります。

Q 不登校の児童生徒のうち、半数以上はフレンドスクールを利用していないことから、社会的つながりを断たれ、「居場所がない

子」が一定数いると懸念される。
このような子どもたちの受け皿となるような更なる対策が必要なのではないか。町の見解を問う。

A 当町におきましては、学校の努力により、保護者とまったく連絡の取れていない児童生徒はおりません。

また、次年度に向けては、中学校における「校内フリースクール」の設置に向けた準備を行っています。これは、自分の学級に入りづらい生徒が、自らのペースで落ち着いて学習・生活ができる校内の空間であり、ここに通室することによって、学習の遅れやそれに基づく不安が解消され、早期に学習や進学に関する意欲を回復する効果が期待されます。

今後も児童生徒や保護者にとつてより望ましい支援や環境の確保に向けて検討してまいります。

(教育長)



議席4番

鈴木 英明 議員



AIオンデマンド交通について

Q 10月11日にAIオンデマンドバスの実証実験が開始されましたが、利用者の登録状況について伺いたい。

A 交通空白区域における移動の課題、具体的には高齢者については主に子どもたちの部活動や塾への送迎などを解決するため、東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構の須田義大教授から紹介いただきました埼玉県北本市の事例を参考に、ワゴン車3台を活用したAIオンデマンドバスの運行を実施いたしました。12月3日現在の登録者数は323名で、利用者数は延べ

232名となっております。

(企画部長)



Q 利用対象者を境地区の自動運転バスの停留所が近くにない方、運転免許を返納した方、高齢者のみの世帯にも広げてはどうかと考えます。当町の考えを伺いたい。

A 今回のAIオンデマンドバスの運行は、まずは実証事業ということで、公共交通の乏しい空白地域の住民の移動の自由を確保することを目的として、境地区以外の町民を対象としています。今後の運行に際しましては、境地区在住の方のご利用も含め、利用者の皆様が使いやすいような形を模索しながら実施していきたいと考えております。

(企画部長)

防災アプリについて

Q 6月に登録開始した新たな防災アプリ（ニューサカインフォ）の登録状況について伺いたい。

A 新たな防災アプリは、マイナンバーカードによる人認証機能と連携したもので、これにより、避難所でQRコードをスマホで読み取るだけで、避難者名簿へ自動登録され、より効率的にかつ正確・迅速に実態を把握することが可能です。

現在の登録状況につきましては、12月4日現在で、1,156人であり、総務省調査のデータに照らし計算した登録率は9・5%となり、各自治体の防災アプリ登録率の全国平均は、6・2%に対し、当町の登録率はこれをやや上回っています。

今後も登録者の推移の分析を行い、普及・周知に努めてまいります。

(危機管理部長)



議席10番

田山 文雄 議員



軟骨伝導イヤホンの導入について

Q 窓口対応において軟骨伝導イヤホンを設置してコミュニケーションを取りやすくしている自治体もあるが、当町における取組を伺いたい。

A 今回の質問をきっかけとして、当庁でも、さらなるサービス拡充を図るため、介護福祉課窓口に軟骨伝導イヤホンを設置させていただきました。

今後も、町民の皆様が安心して来庁ができる環境整備を整えてまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

(町長・福祉部長)



軟骨伝導イヤホン

高齢者支援の取り組みについて

Q 少子高齢化が進む中において高齢者のみの世帯が増えていくと思われるが、高齢者世帯の現状把握や支援の取組について伺いたい。

A 高齢者世帯の現状についてでございますが、令和6年12月1日現在、全世帯数1万5555世帯のうち高齢者のみの世帯は2,621世帯となっており、全世帯に占める割合は24・7%となっております。

現状把握については、民生委員の見守りににおいて支援が必要と思われる高齢者の情報は、役場はじめ関係機関へ提供していただき、現状把握をしております。加えて、地域包括支援センターにおいては、高齢者やその家族の方々から健康や福祉、医療などに関する相談を

受けることにより、高齢者世帯の現状把握を行っております。昨年度は延べ2,765件の相談を受けております。高齢者の支援につきましては、これまでの高齢者福祉サービスのほか、新たな取り組みとして、さかエール地元応援電子クーポン3,000円無料プレゼント事業などを実施しております。

次に、今後の課題でございますが、高齢者のみの世帯、中でも一人暮らしの高齢者世帯や老々介護の高齢者世帯などであり、健康な高齢者がいかに安心して暮らせるコミュニティを作るかというところであります。具体的に、今後は、PFIによる住宅支援だけでなく、買い物、病院、銀行などに生活圏区域内での高齢者のみで暮らせる高齢者版地域有料賃貸住宅を研究してまいりたいと考えております。

(福祉部長)



特別委員会

境第二中学校区小中一貫校設置特別委員会

当特別委員会は、少子高齢化により児童生徒の減少が進んでいると見込まれており、境町教育委員会が策定する「境町立学校再編整備計画」の小中学校の適正化に向けた再編整備方針に基づき、小中一貫校設置について調査研究するため、特別委員会を設置し、委員長に斉藤 政雄議員、副委員長に染谷 直人議員が選出されました。これまでの経過としまして、平成28年3月8日には、当議会に、「学校適正化配置調査特別委員会」を設置し、調査研究を行い、学校適正化配置に係る提言書を、平成29年3月14日、境町教育委員会へ提出いたしました。

教育委員会では、令和3年7月に有識者による「学校のあり方検討委員会」を設置し、今後の教育環境について検討会議や住民アンケートを行い、それらを踏まえ、令和4年5月に学校のあり方検討委員会より、教育委員会に提言書が提出されました。



境第二中学校区小中一貫校設置特別委員会

提言書に基づき、令和4年12月8日、境町議会全員協議会で、境町教育委員会より境町立学校再編整備計画（素案）について説明を受けております。

今後、当特別委員会では、教育委員会や関係機関と調査研究しながら、児童生徒のより良い教育環境や学習環境など、様々な観点から小中一貫校設置の調査研究を進めてまいりたいと思います。

議会活動

第7期境地区定住促進住宅起工式

10月11日、第7期境地区定住促進住宅の起工式が行われました。

町では移住定住施策として、以前よりPFIを活用した定住促進住宅の整備が進められ、これまでの棟全て満室となっており大好評をいただいております。

今後も、快適な住環境を提供するとともに、さらなる定住人口の増加や地域の活性化を目指し町と協力してまいります。



国道354号古河境間整備促進県市町議員連盟要望活動

国道354号古河境間整備促進県市町議員連盟では、国道354号古河境バイパス整備促進期成同盟会と合同により、11月8日、茨城県庁において、合同要望活動を実施いたしました。

今回の活動では、半村登茨城県議会議長、並びに、林利家茨城県土木部長へ、地域の発展や安心して生活できる基盤整備のため、道路整備費の予算確保、国道354号古河境バイパスの早期完成に向けた推進を求める要望書を提出いたしました。



第68回町村議会議長全国大会

11月13日、「NHKホール」（東京都渋谷区）において、全国の町村議会の総意を集結し、地方自治の原則に立ち、住民自治に基づく活力に満ちた町村の実現を期するため、第68回町村議会議長全国大会が開催されました。

大会には、全国の議長及び議会関係職員及び来賓に内閣総理大臣、参議院議長、総務大臣、地方創生大臣など約1,600名が出席されました。

また、大会終了後には、町村議会議長全国研修会が開催されました。中央大学法科大学院教授野村修也氏による講演が行われ、地方創生について研修してまいりました。



「アルゼンチンの日の集い」

11月22日、アルゼンチン共和国大使館から、エドゥアルド・テンポーネ特命全権大使をご招待し、長田小学校において、第35回「アルゼンチンの日の集い」が開催されました。

長田小学校とアルゼンチン共和国との歴史も今年で91年目を迎え、益々深まりを増しております。

今後も、当町の国際理解教育と国際交流・友好関係がますますの深化に向けて町と協力してまいります。



大韓民国 地方時代委員会 ウ・ドンギ委員長来町

11月27日、大韓民国の地方時代委員会ウ・ドンギ委員長（大臣級）、イ・ジョンヒョン副委員長、ソン・ウンギ地方戦略局長、ほか関係者11名が地方創生の先進事例視察のため来町されました。

この度の視察では、国際的な交流を通じた新たな視点やアイデアを得るため貴重な機会でありました。

今後も、国際交流の推進を町と協力してまいります。



鳥取県岩美町視察研修

境町議会では、12月17日・18日の2日間、議会全体研修として、鳥取県岩美町へ視察研修に行っていました。

今回の研修は、令和5年7月に、岩美町の「道の駅きんせ岩美」と境町の「道の駅さかい」が友好交流協定を結び、交流を深めており、両町の発展に向け視察研修を計画したものでございます。

17日には、岩美町長戸清町長、岩美町議会橋本恒議長並びに、岩美町議会議員の皆様と境町議会議員との懇親会を開催し、岩美町の現状について説明いただきとともに、意見交換をさせていただきました。

18日には、岩美町に「優しい漁業」を目指す養殖場があり、サバの養殖を陸上の水槽で手がけている「地下海水井戸陸上養殖センター」を視察いたしました。

育てているサバは2種類、JR西から受け継いだ「お嬢サバ」と「べっぴんサバのさばみちゃん」、共に自社ブランドの

サバを、直径8メートルの水槽9基の中で計約4万匹、養殖されており、養殖のためくみ上げた海水は常時約20度で、気候に左右されない安定した環境が整い、海上と違い食中毒の原因となる寄生虫が付く心配もなく、刺し身で食べられる品質の高いサバを持続可能な漁業として陸上養殖をされておりました。

岩美町長や岩美町議会議員と境町議会議員の交流の場が持たことにより、今後更に両町議会の友好を深め、また、両町の発展に向け交流を深めてまいりたいと思います。

今回の視察に当たり、岩美町関係者の皆様に熱心に対応していただき、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



編集発行：茨城県境町議会広報編集委員会

委員長 染谷 直人 委員 飯田 進 委員 岩崎 博

〒306-0495 境町391-1 TEL 0280-81-1316 FAX 0280-87-5873 <http://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp>